

達成度：H23.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

民生担当参事の目標（平成22年度）自己評価書

民生担当参事 矢部 雄幸

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 住民活動の推進（住民協働課）</p> <p>住民協働課が設置されて2年が経過し、その間公益活動推進事業としての補助金の交付や住民活動団体交流会等を開催してきました。</p> <p>このような中、今後のまちづくりを更に進めていく上で住民と行政の協力は必要不可欠なものです。そのためには住民が自由に自発的に参画しやすい仕組みを構築する必要があります。</p> <p>そこで住民と行政の役割分担や意志の共通認識が図られるような指針を策定していきます。</p>	4	<p>住民と行政の協力関係をすすめていくうえで、千葉大学 関谷昇准教授による「行政が決めるのではなく住民が考え決めていく」を基本とした協働のまちづくり研修や当町出身の著名人である大野ケイスケ氏による「水道の蛇口をひねれば酒が出る酒々井町」など町の魅力再発見やアピールを強調した講演を実施し、気運を高めるとともに住民活動団体交流会を開催し、団体代表による今後の展開方法を検討するなど次に繋がっていくと思えます。</p>
<p>2 健康予防事業の実施（住民課・健康福祉課）</p> <p>ガン、心疾患、脳血管疾患の3大生活習慣病が増加し医療費が伸び続ける他超高齢化社会を迎え介護認定者も増加していることから、現在実施している特定健康診査や保健指導を引き続き実施するとともに各種の健康教室の充実を図るうえで順天堂大学や包括支援センターの他介護施設等関係する機関と協議しながら「自分の健康は自分で守る」その為には日常の生活面はもちろん食育、運動等においても継続的な自助努力が必要不可欠という基本理念が浸透していくよう目指します。</p>	3	<p>最近の健康に対する関心度の高さからウォーキングなどの軽運動を行っている人は増加していると思われるが、継続性が重要なことから、町が行っている各種事業への参加を更に呼びかけることにより、一緒に楽しく運動ができる仲間の輪を作る必要性を感じました。</p> <p>そのうえで目標としていた健康教室の充実や福祉関係機関との連携が思うように進められなかったように思います。</p>

<p>3 人権問題の啓発推進（人権推進課）</p> <p>人権問題に対する意識を高めるうえで広報の掲載や巡回啓発の他小学生によるポスターの展示を実施するとともに相談業務を行いながら啓発活動を展開していきます。</p> <p>また、インターネットへの不正なアクセス問題を関係機関と連携しながら対応していきます。</p> <p>4 温暖化施策の推進（生活環境課）</p> <p>平成21年度に策定した「酒々井町地球温暖化防止実行計画」の速やかな実行に向け、町民・事業所・行政が一体となって進むことができるような執行体制の充実を目指します。</p> <p>5 チャレンジ目標</p> <p>平成20年度に策定した酒々井町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に沿った各種の事業の実現化に向け介護、福祉、教育機関等との連携強化を図るとともに次期計画に向けて実態分析を行っていききたい。</p>	<p>4</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>インターネットへの不正アクセスについては、千葉県人権啓発センターと連携をとりながらすすめていたので、特に問題となる事案もなく概ね目標どおりだったと思います。</p> <p>「酒々井町環境家計簿」を策定し、ホームページで周知を図り身近な家庭の電気使用量やゴミの排出量を記録することにより翌年度以降の指標にしてもらったようにした他「酒々井町地球温暖化防止実行計画」に基づき公共施設についての事業系ゴミの減量化を促しました。</p> <p>酒々井町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（平成21～23年度）の推進については、特別養護老人ホーム、エコトピア酒々井の増床計画が県費補助金の制度改正に伴い計画の見直しが必要となり延期されたが居宅サービス費については年9%（計画10%）の伸び率で推移しており、概ね計画どおりでした。</p>
---	----------------------------	---